

## [01\_01]九州大学情報統括本部ITマガジン表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/1470716>

---

出版情報：九州大学情報統括本部ITマガジン. 1 (1), 2007-05. 九州大学情報統括本部  
バージョン：  
権利関係：



## 情報統括本部の発足、および、 情報基盤センター改組にあたって

九州大学情報統括本部長・情報基盤研究開発センター長 村上 和彰

今春、九州大学における学内外への情報関連サービスを一手に担う組織として「情報統括本部」が発足しました。前身は情報基盤センターおよび事務局の情報企画課で、これが情報統括本部では、情報基盤研究開発センター、情報環境整備推進室、および、情報システム部の3つの部局等から構成されます。当情報統括本部のミッションは、以下の通りです。

- 学内：全学的視野で学内 IT（情報通信）投資および統治の一元化、効率化を図り、学生、教職員、ならびに、学内外ユーザに対して世界トップクラスの安全かつ快適な情報基盤、教育研究基盤、および、サービスを提供する。
- 学外：国レベルの学術情報基盤整備の一翼を担うとともに、地域の拠点大学として域内情報基盤の整備および利活用の中心的、指導的役割を遂行する。

当情報統括本部では、複数の異なるステークホルダー（利害関係者）個々の視点から見た九州大学情報環境の将来ビジョンを以下のように整理しています。

- IT 投資&統治サイドの視点：CIO (Chief Information Officer) & CISO (Chief Information Security Officer) をトップに添えた、
  - ① 全学情報政策の企画立案 (Plan)
  - ② 上記情報政策に沿った全学的規模での一元的&効率的な IT 投資および運用 (Do)
  - ③ 上記 IT 投資&運用状況の評価 (See)、および、企画立案へのフィードバック (Action)

体制による健全なる IT 投資&統治の執行

- 九大学生の視点：日々の学内外生活における計算機&ネットワーク利用、コンテンツアクセス、e-Learning 受講、等の様々なシーンでの高い満足度、勉学達成度を実現
- 九大教職員の視点：日常の教育研究活動、各種業務が学内情報基盤の利活用により高度化、高効率化
- 全国共同利用ユーザの視点：情報基盤研究開発センターの有する国内有数の計算能力、データベース、ネットワークを活用し、さらには 2010 年稼動開始予定の世界最高速「次世代スパコン」とリンクした最先端研究を遂行

- 域内大学の視点：域内大学の高性能計算サービス、ネットワーク、e-Learning、コンテンツサービス、機関リポジトリのハブとして機能
- 学界&国の視点：計算科学および計算機科学の COE としての地位確立、そして、国の情報政策への積極的参画
- 産業界&社会の視点：「IT の九大」ブランドの確立  
そして、我々、情報統括本部の教職員は上記将来ビジョンを3～5年後に実現することを目標に、現在、以下の戦略に則って日々の業務ならびに研究開発を遂行しています。
- 組織・体制・規則：情報統括本部を核とした学内体制ならびに諸規則を関連組織、関連委員会と連携して整備
- 財務：学内の IT 関連予算の一元化、効率的投資
  - 情報基盤研究開発センター、事務局各部、各部局に分散している IT 関連予算の配分見直し
  - 重点的研究教育基盤整備費による単発調達の見直し（教育用計算機、ネットワーク機器のリース予算化）
- 学内ネットワーク：持続性のあるネットワーク維持体制の確立
  - 受益者負担金制度とサービス内容の見直し
  - （上記「財務」と関連して）ネットワーク機器のリース化および定常予算化
  - （下記「認証基盤」と連動して）全キャンパス全地域における無線 LAN サービスの提供
- 教育用計算機：学内の教育用計算機予算の一本化と効率的投資&運用
  - 学生1人当たりの端末数の向上
  - 学生向け IT サービス（下記キャンパス・ライセンス、上記無線 LAN サービス）の充実、ならびに、学生応分負担方針の明確化
- e-Learning：高等教育機構と連携した全学規模の e-Learning 推進体制の確立
  - WebCT、OCW の普及促進
  - 遠隔会議・講義システムの充実
  - （博士後期課程定員充足率アップと関連して）社会人ドクター向けサービスの開始
- 認証基盤：学内情報基盤の要としての全学共通認証基盤の構築
  - 全学共通認証システム、SSO サービス、学内共通ポータルの立ち上げ
  - 全学共通 IC カード（MIID）との連携推進
- 業務情報システム：学内の各種業務情報システムの投資&運用効率の改善
  - 調達方法、運用体制の改善

- 研究環境：各部署の IT 関連負荷の軽減
  - メール・サーバー、Web サーバー、等の全学一元管理&運用化
  - ソフトウェア・キャンパス・ライセンス・サービスの充実、および、ソフトウェア管理負荷の軽減
- 情報セキュリティ：CISO をトップとする即応性の高い情報セキュリティ体制の構築
- 全国共同利用スパコン：ユーザニーズ、国の施策と連動したスパコン・サービス経営
  - 他大学とのアライアンス、民間への利用開放を促進
  - 次世代スパコン開発への参画ならびに連携、対応する学内組織（「ペタスケールコンピューティング教育研究センター（仮称）」）の新設

最後に、九大構成員の皆さまからの情報統括本部に対する質問、要望、等を一本化して受け付ける窓口、すなわち、ヘルプデスクを今春から新設致しました。何かございましたら遠慮なく、

[help@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:help@cc.kyushu-u.ac.jp)

宛にメールをください。

変革し、そして、飛躍する九州大学の情報環境にご期待ください。